

## 巧妙化の犯罪と闘う 警察の方々の姿勢に 感謝するばかりです

先日の10月8日に開催された日遊協北海道支部など四団体合同主催による「健全営業推進セミナー2013」と10月9日に開催された福島県遊技業協同組合連合会主催の「ゴト犯罪対策セミナー2013」へ、大変多くの方々にご来場頂き誠にありがとうございます。今年は何セミナーともに、ご多忙の中、多くの警察関係者の方々

にご来場頂き、ゴト犯罪対策セミナーをご視察して頂けたことを光栄に感じております。近年、驚異的なスピードで巧妙化が進むゴト犯罪への対応には、警察との連携が不可欠であり、法律の抜け穴を見つけて逮捕から逃れようとするゴト犯罪グループへの対策方法として、被害者であるホール役職者が様々な法律を勉強する必要性があります。

あるベテラン刑事の方から聞いたのですが、最近の若い刑事の方はパチンコを打ったことがない人がほとんどで、いざゴト事件が発

生してもゴト犯罪を立件する要件がわからないケースが多いそうなのです。

そういった世の中の流れもある中で、組合が主催するゴト犯罪対策セミナーに所轄の盗犯担当（ゴト犯罪担当）の方々が視察に来て、一緒にゴト犯罪をどうにかしようとして取り組まれることはとても有難いことだと感じました。

犯罪を実行するゴトグループが勉強して巧妙化してくるのならば、それを迎え撃つホール役職者や警察関係者もスキルアップを図って行かなければ奴らに負けてしま

ます。

この連載をコピーして、担当の警察の方へ毎月届けていると先日ある組合の事務局の方がおっしゃっていました。とても嬉しくも身が引き締まるお言葉です。ホールの方々や警察関係者に役立つ情報になるように、拙い文章ですがこれからも精進してまいります。

## 「ジャグラーAPEX」 被害は全国に拡大 他の同機種にも注意を

まずは、前号でお伝えした「アイムジャグラーAPEX」のクレジット上げゴト（クレ満クン）被害に関してですが、非常に全国各地で被害が拡大している傾向が伺えますのでご注意ください。また、「アイムジャグラーAPEX」の被害に隠れて、以前から被害が多発している「クラシックジャグラー」や「アイムジャグラーSP」でのクレジット上げゴト被害も依然として続いておりますので併せてご注意をお忘れなく。

以前からあるゴト手口であるにも関わらず、ジャグラーシリーズでクレジット上げゴト（クレ満ク

# ゴトに勝つ

高石隆一

# 26

## 3枚ずつの「クレマシ」に だまされないチエックを





ン)被害が多発しているのは、この連載で何度もお伝えしておりますが、クレジットの上げ方が変化して通常の遊技と相違が無くなったことによる部分が大いと思われれます。初期の手口のクレジットのように一気に50まで上げて精算し、それを繰り返すと、周りのお客様の視線が気になります。クレジット表示部分を隠すなど、様々な挙動が不自然でゴト被害を発見するきっかけも多かったのです。しかし最近の主流であるクレジットを3枚ずつ上げるという手口だ

と普通に遊技している姿と違いが無いために長時間の犯行を許してしまい、結果的に莫大な誤差が閉店後のデータ異常で発覚することになります。

### 常連客の顔を覚え見慣れない場合はカメラで徹底マーク

すべての店舗で実施することは難しいと思いますが、ある店舗ではクレジットやサンドゴト対策として、見慣れないお客様の遊技

状況をチェックする時間を数時間毎に設けているところがあります。チェックの方法は、見慣れないお客様の情報をホールスタッフから受けて、その見慣れないお客様ひとりひとりに防犯カメラを当てて遊技の状況をチェックするといふものです。きっちりメダルを投入して遊技しているのか、メダルを入れるフリをしているだけでないのか?変な場所に手を置いて遊技していないか?セルゴトの可能性はないか?異常なARTゲーム数になっていないか?など

というポイントをチェックする時間を設けているのです。

このチェックする時間を設けることにより、ホールスタッフは来店している常連のお客様の顔を覚えることにつながります。そして、これらの活動をしている店舗ではゴト被害の発生率が非常に低い傾向にあります。その理由として、これらのチェックを実施していることにより、ゴトグループにとってゴト犯罪がやりにくい店舗の空気になっているのではないでしょう。

### 「目は口ほどに」でお客様の目を見てある程度判断できる

犯罪者にとつて嫌なことは、「目を見られること」と言われております。「目は口ほどに物を言おう」ということわざがありますが、これは情のこもった目つきは言葉で説明するのと同様に相手に気持ち伝わるものだという意味です。人間が喜怒哀楽の感情を最も顕著に表すのが目だということから、何もしゃべらなくとも目つきから相手の感情がわかるものだという

ことを言っており、言葉で偽りごまかしていても、目を見ればその真偽がわかるのです。万引きGメンや接客のプロフェッショナルになると、「目は口以上に物を言う」ということで、お客様の目を見てお客様の望んでいることや考えていることを読むのです。

お客様チェックの際に、ホールスタッフがお客様とアイコンタクトを取っていることが、防犯に役立っていることと思っております。

### 「攻殻機動隊」狙い複数で手分けして数分でセルゴト終了

9月になって全国のあちこちから被害情報が舞い込んできたのが、サミー「パチスロ攻殻機動隊S.A.C.」を狙ったセルゴトです。

この「攻殻機動隊」を狙ったゴト被害の第一報は次のとおりです。当該遊技機において液晶画面付近に手をあてている不審人物を発見し、注視していたところ、不自然な大量のARTゲーム数の上乘せを確認しました。ホール側がゴト犯罪の証拠を押さえる前に、ART終了後すぐに遊技者が出玉の交



換を求めてきたが、遊技者の挙動や出方が不自然であったので、ホール側が交換を一時断ったところ素直に納得して退店したというものでした。

素直に出玉の交換拒否に応じたことから、何らかのゴトが行われていた可能性が高いとの第一報だったのですが、その数日後に具体的なゴト被害が発生してセルゴトであることが判明いたしました。

4人組による犯行で、3人の壁役が遊技台を取り囲み、残りのひとりを実行犯として取り囲まれた遊技台にてセルを挿入するというものでした。ゴト作業時間は数分で終了し、作業終了後に打ち子に交代するとすぐにARTが発動しておりました。

## 筐体にセルを挿入 ゴトを誘発したら 打ち子は何人も交代

被害台を調べたところ、筐体左上のスピーカークのプラスチック枠部分とサブハーネスの主基板側に傷が残っていたとのことでした。

手口は筐体左上のスピーカークとプラスチックカバー部に隙間を作

### 攻殻機動隊



セルの挿入箇所

(筐体左上スピーカークのプラスチック枠の隙間)



セルの挿入箇所(拡大)

成し、その隙間部分からセルを筐体内部に挿入し、主基板左上部にあるサブハーネス(主基板とサブ基板を繋ぐ配線)にセルを接触させて、そこから成立もしていない不正なコマンド(ARTが抽選されるレア小役など)をサブ基板へ送信することで、ARTを誘発させているものと推測しております。

今後、サブ基板側やサブハーネスの配線自体を狙う手口に変化する可能性もありますし、セルの挿入箇所も同時に変化していく可能性があるため注意が必要です。

今回「攻殻機動隊」でゴトを行っていたグループが店舗の目を

欺くために、打ち子が約2千枚程度のメダルを獲得したところで別の打ち子と交代して途中交換を繰り返すことにより、大量のメダルが窃取されてしまったということがありました。

設置台数がかかなり減少している「パチスロ攻殻機動隊S.A.C.」ですが、バラエティコーナーにある1台を狙っての犯行も多発しているため、当該機種を設置しているのであれば多量のARTゲーム数の上乗せや差枚発生時には防犯カメラの録画映像のチェック、途中交換時の台の状況確認を実施することをオススメいたします。

また、今回の「パチスロ攻殻機動隊S.A.C.」の被害発生を受けて、類似筐体である「パチスロあしたのジョー2ZS」や「カイジ3S」などでも被害が発生する可能性がありますので警戒をお願いいたします。

## 自動販売機のとつり銭 出ない出ないと騒ぎ 返金せかせる手口

弊社に相談や被害報告がある事案には、ゴト犯罪ばかりではなく、ホールで発生する様々な事件や事故があります。今年の夏に頻発したのがジュースの自動販売機のとつり銭返却金詐欺事案です。

手口は、詐欺犯がジュースの自動販売機にて「お金(1020円)が戻ってこない」とのクレームをホールスタッフに言ってきます。ホールスタッフが連絡を受けた役職者が自動販売機にお金を投入するなどしてチェックしましたが、自動販売機には異常がない状況でした。ここで詐欺犯は、



時間が無いから早くお金を返却して欲しいとキレ気味に急かしてきます。このキレ気味に急かされることにより、ホールの役職者が焦ってしまい詐欺犯の口車に乗せられて相手の言う金額を返金してしまおうという詐欺事案が多発したエリアがあります。

※おそらくは同一犯によるものと思われます。

自動販売機のトラブルに関しては簡単なメンテナンスはホール側でもできるところも多いと思いますが、特殊なトラブルが発生した場合は自動販売機の管理者でなければ対応できないことと思います。自社ですぐに対応できないのであれば、自動販売機の管理者へ早急に連絡を入れて、管理者が異常を確認後に返金するというようにしなければならぬと思われれます。このような対応を伝えた場合に、詐欺犯は「明日から出張でない」、「たまたま親戚や友人のところ遊びに来たついでに寄った」、「用事があったらもう時間が無い」と言っていて、今すぐに「お金を返して」と畳み掛けてきます。後日、自動販売機の管理者が売上金とお釣りの確認をしたところ、売上金額やお釣りに一切の異



セルの挿入箇所(裏側)  
○部分からセルが侵入してくる



セルの接触箇所  
(主基板左上のコネクタを狙っている)

常は無く、被害発生日に近隣の他店舗でも同様の内容で投入した金銭の返却を要求していたことが自動販売機の管理者によって判明しました。

## 「返金は確認後に」 しっかりとルールを守る 意識改革が不可欠に

詐欺か否かに関わらず、同様の事案が発生した場合においては、連絡先を伺い、しっかりとした異常を確認後に金銭を返却するといった対応が賢明と思われれます。数年前には、両替機に1万円札

を挿入して、挿入した1万円札が飲み込まれる直前に1万円札を無理やり引き抜くことで両替機にエラーを発生させて、1万円を騙し取るという被害が多発いたしました。この事案でも被害が発生したケースは、詐欺犯から強気で文句を言われて急かされたことにより、両替機の売上金額などのデータや防犯カメラの録画映像を確認せずに返金してしまったことで詐欺被害に遭ってしまいました。被害に遭った店舗の近隣店舗では、返金を急かせる詐欺犯に対して、自分の勝手な判断では返金できないので売上データやカメラの映像を確

認してくるので、少々お待ちくださいと伝えたところ、詐欺犯はいつの間にか店舗から居なくなっていたそうです。詐欺がバレて捕まる危険を察知して逃走したのでしょうか。

被害に遭う店舗と被害に遭わない店舗の違いは、当たり前前のを当たり前前にするか、しないか、という「ちよつと」の差しかありません。ルールやマニュアルがあっても、そのルールを守らない、マニュアルを無視して勝手なことを行うのでは、ルールやマニュアルが無いことと等しいこととなります。

「ちよつと」の差を無くすこと、それにはひとりひとりの意識改革が必要なかもしれません。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち  
警備会社の指導員、セキュリティ会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキュリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「二期会」が座右の銘。